男鹿南中学校　校報　　令和４年１２月１日号

こだま

〒010-0521
男鹿市船川港南平沢字上大畑台30
男鹿市立男鹿南中学校
TEL/FAX 0185-23-3241/24-4947
https://edu.city.oga.akita.jp/ogaminami-js
校報通算　第271号

創立30周年記念式典を挙行しました！

校長　加藤和彦

今年は、平成4年4月に男鹿南中学校が開校してから30周年という節目の年です。11月11日（金）、創立30周年記念式典をご来賓、そして本校教育の発展充実にご貢献のあった方々をお迎えし、本校生徒、保護者等、約150名が参列する中で挙行しました。校長式辞、菅原市長より来賓祝辞をいただき、鎌田実行委員長によるあいさつの後、表彰を行いました。今回は、PTAや体育文化後援会関連、元職員等でご功績のあった28名が表彰となり、当日ご参加いただいた方々へ実行委員長が感謝状をお渡ししました。

感謝状贈呈

その後、生徒は、新たなるスタートとして、30年の歴史と伝統を振り返り、南中生としての誇りをもちながら、地域への感謝の気持ちを表す3つの発表を行いました。

伝統継承「なまはげ太鼓」

進行は生徒が担当・　石川生徒会長

最初の全校合唱、「キミのもとへ…」では、自分の周りの人に、世界中の人たちに思いを届けるよう心を込めた歌声を響かせました。続いて、思い出のスライドを上映し、30年の歴史を振り返った後、校歌にスポットを当て「‘新たな世紀を担う’南中生」としてどうありたいかを各学年ごとにまとめ上げた「校歌4番」を発表しました。どの学年の校歌にも歴史と伝統を受け継ぐ思いや新たな伝統を築き上げていく前向きな思いと決意が表れていました。また、生徒を代表して生徒会長の石川さんが「先輩の思いや伝統を受け継ぎ、南中生としての誇りをもちながら、さらなる飛躍を目指します」と述べました。最後、男鹿北中との統合により、男鹿南中の新たな伝統として受け継いでいく「なまはげ太鼓」では、会場一杯に響く、迫力ある演奏を披露しました。男鹿南中学校の歴史に新たな一歩を記す一日となりました。

全校合唱「キミのもとへ…」

〔後期生徒会スローガン〕「昇　華　～共鳴し、高め合う～」

後期となり学校における様々な場面で１、２年生がリードしていくこととなりました。先に開催された後期生徒総会でスローガン等が議決されましたので紹介します。

後期スローガンは「昇華～共鳴し、高め合う～」となりました。「昇華」とは、『ある状態から、更に高度な状態に飛躍する』こと、日々成長し続けてほしいということ、また、「共鳴」には、互いの考えを分かち合ってほしいという意味が込められています。

その他、各委員会からの活動方針等について提案があり、質疑応答を踏まえた後、それぞれの活動内容が明確化されました。12月は生徒たちが様々な力を発揮しなければならない機会と捉えている「新入生体験入学」「受験生激励会」を行う予定としています。これらの行事も含めて、後期の南中生の頑張りにご期待ください。

生徒総会議長団

各委員会代表

私たちの考えた「校歌４番」

1年生「校歌４番」
荒波に　小さな光
岩のように　たたずむ勇気
師よ友よ　男鹿南中
見えずとも　探しふみだし
目指すべき　未来を歩む

2年生「校歌４番」
麗しき　椿のように
花開く　我らの未来
師よ友よ　男鹿南中
果てしない　空に笑えば
今日よりも　明日は輝く

3年生「校歌４番」
日本海　青々として
あの空は　彩あせぬまま
師よ友よ　男鹿南中
先人の　想いをつむぎ
明日に燃え　強くはばたく